
殺人リアルとロマン自殺

きゃっつびー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

殺人リアルとロマン自殺

【Nコード】

N5962Q

【作者名】

きゃっつびー

【あらすじ】

あなたは「死にたい」？それとも「生きていたい」？

「キミノスベテ」は一体何？

倒錯した価値観を考察したその果ての、一つの答えです。

「命よりも大事なものはある？」

何時だったか、私はあなたに聞いたわ。

でもあなたは、

「そんなものはない」

と言っていたっけ。

そう言えるあなたを私は否定しないわ。「生きていたい」と胸を張っているなら、それはそれで幸せなことだと思うから。

でもね、

私にはあるの。

「命よりも大事なもの」が。

それは途方もない「理想」よ。

誰もが無理だと諦め、無駄だと嗜めるような、そんな身に余る程の、夢と、希望と、理想。

そういうものを私は求めているの。

現実を生きるためには、現実^{リアリスト}に死ぬ覚悟が必要で、理想に生きるためには、理想に死ぬ覚悟が必要なの。殉ずる覚悟、と言ってもいい。

それが出来ない人は、ただ自動的に死んでいくだけよ。

「失敗を恐れてはいけない」

よく聞く言葉だけど、中途半端。

だってこの言葉に続くのはこうでしょう？

「死ぬわけじゃないんだから」って。

彼らは現実主義者よ。

私ならこう言うわ。

「死を恐れてはいけない」

私は理想主義者だから。
ロマンチスト

そもそもそこまで怖がるものではないと思うわ。

ちょっと痛いぐらいよ。きつと。

でも、みんな、死が何よりも怖いのでしょうね。

私も怖くない訳ではないけど、何よりも、という訳ではないわ。

私はね、「死んでもいい」の。

むしろ「死にたい」わ。

「理想に死にたい」の。

「理想に死にたい」がために「理想に生きている」の。

生きるのは二の次、まああればいいんじゃない？ってぐらい。

勘違いはしないで欲しいわ。

私は自殺したいわけじゃないの。

私は殺されるの。

私を殺すのは「現実」よ。或いは大勢の現実感リアリティかしら。「お前に生きる資格はない」と言われるのが夢なの。

そしたら私はニヤリと笑ってこう言うの。

「こっちから願い下げだわ」ってね。

「生きていたい」から「生きている」。
「死にたくない」から「生きている」。
「死にたくはない」が「生きていたくもない」、でも「生きてい
る」。

「生きている」、これは結果論でしかないわ。

ねえ、あなたは「自分が生きている理由」をよく考える、と言っ

ていたけど、それはきつとナンセンスなことよ。

私はこの「現実」にこそ、生きてやる価値があるとは思えないわ。ここには、本当に詰まらなくて退屈で、気に障るものばかり溢れているもの。

あくまで総合的に見たらの話、だけどね。

私達は「自分が死ぬ理由」を見つけるべきなの。或いは「死ぬ価値のあるもの」を。

「死ぬ価値のある理想」を。

「死ぬ価値のある現実」を。

私はきつと、死ぬまで生きるわ。

或いは殺されるまで。

どちらにせよ、悪くはないもの。

（後書き）

楽しんでいただけたなら幸いです。
（一w一）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5962q/>

殺人リアルとロマン自殺

2011年10月6日19時48分発行